

令和3年度第1回新居浜市社会教育委員会議 議事録

- 1 開催日時 令和3年8月31日（火）18：30～19：40
- 2 開催場所 新居浜市役所庁舎3階 応接会議室
- 3 出席者 ≪委員≫秦榮子議長、篠原雅士副議長、
秋月恭子委員、安藤進一委員、岡野弥生委員、小野辰夫委員、
久保田真士委員、篠原和彦委員、高橋一美委員、藤原説夫委員、
森重考司委員、山内保生委員
(計12名)
≪市教委≫高橋事務局長、竹林課長、河野副課長、曾我部係長、村上主事
- 4 欠席者 ≪委員≫加藤すみれ委員、瀧田恭助委員、藤本毅委員
(計3名)
- 5 事務局挨拶（高橋事務局長）
- 6 自己紹介
各委員、事務局の順に自己紹介
- 7 議長、副議長選出
議長に秦榮子委員、副議長に篠原雅士委員を選出。
- 8 議事
(1) 令和3年度社会教育関係事業について
≪資料に基づき、事務局説明≫

(秦議長)
ただ今の事務局の説明に対して、山内委員、ご意見がありましたらお願いいたします。
(山内委員)
今年の12月実施予定の成人式について、その他の自治体ではWEBで実施するようなことを聞きました。WEBで実施することが良いかどうかは分かりませんが、新居浜市でもそのような可能性は考えておられますか。
(秦議長)
ありがとうございました。この件について、事務局のご意見いかがですか。
(竹林課長)
貴重なご意見、ありがとうございます。西条市では、オンラインで開催し、式典自体は中止という

ことを5月に早々と決定しております。それ以外の県内の自治体については、8月お盆の時期に実施するということと12月末に実施するというのが大半でした。しかし、8月に実施するところについては、知事からも県を跨いで移動の制限等もありましたことから、中止または延期というところがほとんどでございます。新居浜市としては、12月28日（火）に再延期し、実施させていただきたいと考えております。また、この時期に新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、中止ということになりましたら、やり方を変えて、あるいは先ほど山内委員さんからご意見いただきましたオンライン開催等も含めて考えていきたいと思っております。また、委員さんからもいろいろな情報、意見がございましたら、事務局にお伝えいただければと思います。

（秦議長）

ありがとうございました。続きまして、様々なことで、地域住民は公民館にお世話になっておりますが、公民館長の岡野委員さん、お願いいたします。

（岡野委員）

先ほどの意見でもございましたが、成人式の件で、やはり中止というのは、残念に思います。12月28日予定の成人式についても、第5波に続いて第6波が来る可能性もあるので、リモートで実施する準備を、今からでもして欲しいと思っております。やはり、この世代は、学生生活に我慢ばかり強いられているように感じます。再延期になり、その後中止というのはあまりにも残念なので、検討をお願いしたいと思います。

公民館に関しては、文化祭や芸能発表会等について、実施できるかどうかを館長会等で話し合っている段階ですが、もちつきやうどんなどの食べ物関係は厳しいかなという流れです。

サークルさんや、自治会の作品展については、できたらいいと思い、進めている館が多いと思っております。また館報等でそれぞれご連絡すると思っておりますので、皆さん、ご協力お願いいたします。

（秦議長）

ありがとうございました。この点について、事務局のご意見お願いいたします。

（竹林課長）

成人式については、岡野委員さんがおっしゃられた通りで、我々も何らかの形で実施したいと考えております。この新成人が生まれたのが、2000年のミレニアムベイビーと言われる年です。ぜひとも、形に残ることをしていきたいと思っております。

文化祭については、作品展示ということで、できるところから少しずつでもやっていきたいと思っております。また、各館のご意見をいただきながら進めさせていただきたいと思っております。

（秦議長）

ありがとうございました。十分にコミュニケーションをとってやっていただきたいと思います。続いて、安藤委員さんお願いいたします。

（安藤委員）

今までのご指摘いただいたことについては、その通りだと思います。私は、前任期に引き続き、参加させていただいております。前任期の間は、公民館がどうあるべきかなどを中心に議論させていただき、議論する中で大いに勉強させていただきました。今回も、大いに議論に参加させていただき、それと並行して、いろいろと勉強させていただけたらと考えております。先ほど説明していただいた通り、相当広範囲に目を向けて、議論を進めていく会であるということ認識して、参加させてもらおうと思っております。よろしくお願いいたします。

(秦議長)

ありがとうございました。続いて、秋月委員いかがですか。

(秋月委員)

今までとは別の話になりますが、私は高津校区に在住していますが、夏休みに2日間、学習会を公民館でさせてもらいました。今年で3回目になるのですが、公民館全館貸切りで使わせていただいて、館長さん含め、主事さん、主事補さんもとても協力的で、学校の前に公民館がある利便性、子どもたちにとっても、通い慣れている場所ということで、多くの子どもたちが参加してくれました。あと、資料の放課後子ども教室についてですが、全体を見るのは、私も初めてです。公民館には、この情報が共有されていると思いますが、小学校のPTAにも、こういうことをいろいろな地域でやっているということをお伝えしていただければありがたいと思います。

(秦議長)

ありがとうございました。この点について、事務局のご意見をお願いいたします。

(竹林課長)

休館前に高津公民館にお伺いしたところ、玄関のところに靴がいっぱいあり、にぎやかで、充実した活動を実施していただいていると感じました。ご指摘のありました通り、放課後子ども教室の一覧については、学校教育課を通じて、PTAにも送付し、共有させていただきたいと思います。

(秦議長)

それでは、篠原副議長いかがですか。

(篠原副議長)

新居浜市には、「にいほま春の文化祭」があり、春の文化祭では、公民館連絡協議会の皆さんに、出席していただいたり、出品していただいています。新居浜文化協会は、今、教育委員会文化振興課に属しておりますが、古く50年位前には、社会教育課の所管にあり、密接な関わりがあります。文化活動は社会教育の一つであると感じております。

資料の3その他の事業の項目の中で、高齢者生きがい創造学園開園30年記念誌作成事業についてですが、高齢者生きがい創造学園での活動がどうなるのかと非常に懸念していたところですが、今後も続けて高齢者の活動ができるということを拝聴して、非常に嬉しく思っています。高齢者生きがい創造学園は、文化の関係、そして体育関係の活動が非常に盛んであり、私は高齢者にとって、なくてはならないものではないかと思っております。活動が継続されることについて、非常に感動しているところです。

文化協会では、「秋の芸術祭」があり、多くの協会員が出演をする予定です。その活動の場、練習の場の多くが公民館です。現在、公民館が休館であり、なかなか活動、練習ができない状態ですが、何とかコロナが収束する時期を待ちながら、活動を続けているところです。今は、コロナ収束こそが、この新居浜市の文化活動の継続に直接強く繋がっていくと思います。

社会教育委員会議は、新居浜市の子どもたちや、老若男女問わず皆様の社会教育活動に非常に大切な機関であると考えておりますので、少しでも貢献できればと思います。

(秦議長)

ありがとうございました。皆さんの意見を尊重しながら、聞きながら、一歩ずつ前進してきたと思います。大変貴重な意見、ありがとうございました。続いて森重委員さん、お願いいたします。

(森重委員)

社会教育関係の議論というのは、どこまで融合してよいのかわからないのですが、私共のような化学会社となりますと、どういう働き方をしているのかということが、皆さんに伝わっていないと思っています。特に若いこれからの新居浜を担っていく方々にも是非わかってもらう機会が作れたらいいと日頃から思っているところです。化学と言いますと、特殊なことをしている、すごく危ないのではないかというようなイメージが強いのと思いますが、安全のことに関しましては、大変気を付けております。そういったことを知ってもらい、新居浜という場所で 100 年以上事業を続けている企業でありますので、未来の新居浜の方々へ役割を担っていただきたいため、そういった機会を作れないものかと考えております。そういったことは、この場で議論してもよろしいのでしょうか。

(竹林課長)

現在、公民館事業などで、住友化学の方にお越しいただき、教室を開いていただいております。またOBの方にもお越しいただき、ご指導いただいております。そのような機会がありましたら、ぜひお声かけいただけたらと思います。

(森重委員)

ありがとうございます。一度お話をさせていただきたいと思います。

(秦議長)

一歩前進できるよう、できるだけ早くお願いします。続いて小野委員さん、お願いします。

(小野委員)

私の個人的な意見かもしれませんが、成人式につきまして、一昨年私も出席しました。出席者は 800 人ほどでしたが、そのうち 150 人ほどはロビーに固まり、友人と話をしながらは入りませんでした。新居浜市としても、式典のみで記念品等もなく、そのような成人式が、一生の記念になるのだろうかという疑問に感じました。私個人が愛媛県の成人式について調べたところ、4割が記念品を渡し、6割は渡していないが、中には植樹祭を行う、他のイベントを行うというところが多くありました。

また、成人式の対象者のアンケートでは、6割は「記念品は必要ない」との結果も見ましたが、一生に一回しかない成人式であるので、何か記念になるものを残してあげたいと思います。私の時代は、アルバムを貰いましたが、未だに持っています。

例えば、新居浜市として、新居浜の記念になるような歴史書や、偉人、特に伊庭貞剛の話などを 1 冊差し上げたらいかがでしょうかと思います。一生の思い出になるようなことをして欲しいと痛切に感じました。記念品以外では、植樹祭など、一生記念に残るような式典をして欲しいと思います。

(秦議長)

貴重なご意見をありがとうございました。この件について、事務局お答えください。

(竹林課長)

貴重なご意見をありがとうございました。記念品につきましては、今後検討させていただきたいと思います。記念に残る成人式というのは、大切であると思っています。今回、コロナ禍という中で、各地で工夫をしながら記念に残るようなもの、例えばフォトスポットなどを作られているところもありますので、今後、参考にさせていただきたいと思います。

(秦議長)

ありがとうございました。植樹など、記念になるものをお願いします。高橋委員さん、ご意見をお願いします。

(高橋委員)

県立高校は、この9月12日まで、まん延防止等重点措置ということで、色々な面で校外での学習、インターンシップで影響があります。また運動会におきましても12日までは無観客で実施することが決まっており、保護者やケーブルテレビも入れず、入れるのは、アルバムを作る写真屋さんだけです。県からの通達に従っております。生徒たちの記憶に残る何かをとということで、現在、色々と考えております。

社会教育にどこまでということを考えておりましたが、昨年から公民館活動もできておりません。本来であれば家庭クラブの生徒たちが、地域の方、小・中・高と連携を取りながらイベントを一緒にしておりました。新居浜商業高校ですので、泉川公民館と親しくしておりますが、そのようなことができなくなり、かなり色々な面で影響が出ています。今の3年生は、修学旅行へも行けておらず、いろいろな活動で制限のある中で、どうすれば前向きに生徒たちが輝いて卒業していけるのかを考えております。

1学期に、泉川公民館の館長さんが、少子高齢化の中において、正しく認知症を知るために、公民館を中心に地域をあげて認知症について知る機会を作りたいと来られました。高校生に、認知症の症状についてのユニークな標語を募集したいので考えて欲しいとのお話で、「そのようなことでしたら頑張らしましょう」とお答えしました。来年度は、その標語をカルタにし、「認知症について正しく知って、お年寄りを守っていこう」と、10年後20年後、このまちを支えていく10代の子どもたちの生きた活動にしたいと考えております。高校生も地域とともに育たなければならない中、色々な制限はありますが、どのようにやっていけばいいのか試行錯誤しながら頑張っているところです。まん延防止等重点措置が解除されれば、地域に向けていくという事も含めて、コロナが収束することを願っています。コロナの影響で、教育現場はかなり疲弊しております。

(秦議長)

笑顔輝く新居浜市になるためには、何でも自分から行動を起こすことが大切だと思っています。皆さんのご意見を伺いながら、一からやってみようと思わなければ、新居浜市は良くなると思います。皆さんの貴重な意見をしっかり聞いて、次の会の時にどれだけできているのかを聞きたいと思います。早急にはできないこともあるとは思いますが、皆さんの苦勞のご意見やどのようにしたら良いのかのご意見をお願いします。久保田委員さんお願いします。

(久保田委員)

小学校は、先ほど秋月委員さんが言われたとおり、公民館とすごく密接な関わりがあります。昨年度から、ほとんどできなかったのですが、今年6月、ちょうど感染が落ち着いている時に、本校の比較的下の学年の子どもたちが、「今年は夏祭りできるかな」と楽しみにワクワクしている様子でしたが、残念ながら実施できませんでした。夏休み中に行われたのは、4日間の学習会のみでした。今後、文化祭や芸能祭も予定にはあったのですが、見通しが立たない状況です。お祭り集会についても、計画は立てていたのですが、来週判断しなければならなくなっています。

このまちを支えるのは、今の子どもたちだと思います。私は船木小学校に勤務しておりますが、船木校区の子どもたちは、「船木に帰ってきたい」とよく言っています。保護者も船木出身の方が多いのですが、理由を聞くと、「何か居心地が良い」ということを言われます。考えてみると、小さい頃から、子ども、大人、おじいちゃんおばあちゃんたちと世代を超えた交流を色々続けた結果ではないかと思います。家から出るとすぐ、知り合いに会える、声を掛けてもらえる、そのようなまちづくりを船木はしてきたのだと思います。ぜひ他の校区でもこのようなことを進めていただければと思います。

(秦議長)

貴重なご意見、ありがとうございます。藤原委員さんお願いします。

(藤原委員)

自治会と公民館とは、車の両輪と言いますか、企画立案は公民館を中心にしていただき、人員の動員は自治会でという形で進んでいるのではないかと思います。いずれにしても、昨年のコロナから始まり、連合自治会として、また各单位自治会として企画した行事、公民館が主体となって計画した行事のほとんどが実施できておりません。私は神郷校区に在住しておりますが、校区の自治会長さんには、この機会に、従来していた事業を1回見直すチャンスではないか、今までであれば、年が替わると次々と事業の準備をしていたが、2年も事業が実施できないとなると、今後どうするのかについてしっかりと根本から考えていかなければならないと投げかけをしております。来年度、事業ができる、できないは、別として、公民館と一体となって、できるものをできるだけやって行くという形で、人が集まれないのであれば、少人数からでも、みんなで繋がっていけるような地域づくりができればよいのではないかと考えております。

(秦議長)

ありがとうございました。篠原委員さん、いかがですか。

(篠原和彦委員)

資料にあります、地域学校協働本部の色々な活動を見させていただいて、小学校中心の表現が多く、中学校ももっと活躍しなければいけないなと思いました。この前、口屋跡記念公民館で、夏祭りがあり、それに中学生がボランティアで参加し活躍していました。そのような活動をしているということをもっとPRしていただければ、刺激になるのではないかと思います。泉川でも、中学生がどんどん活動に参加しています。中学生が活動の中に入ると、華やぐと感じました。大人と小学生の間に中学生が入ると、活動が元気よくなり、中学生の活躍の場を教育委員会としても刺激していただければいいかと思います。

中学校で活躍した子どもたちが、高校生になってより専門的な知識や元気を持って地域に帰ってくれば、三世代交流など、いろいろな活動が増えていくのではないかと思います。

今まで中学生は部活動で忙しかったのですが、ガイドラインが出て、平日一日休みであり、新居浜は基本的には水曜日が休みです。また土日のうち、一日は休みということになっています。そのため、中学生は時間ができています。この時間を、少ないとは思いますが、地域のために力を使う時間になりたいという子どももいると思いますので、その子を何か刺激するような働きかけをしてもらえればと思います。その子どもが活躍し、自信を持ち、高校生になり、そして大人になると、より一層新居浜市が充実してくるのではないかと思います。よりよい新居浜を築くのではないかと思います。

そのためには、学校運営協議会が色々な活動の中心になると思うので、学校運営協議会の話し合いも活性化するように教育委員会の方で刺激していただければ、ありがたいと思います。

(秦議長)

ありがとうございます。事務局で総括をお願いします。

(竹林課長)

貴重なご意見をありがとうございます。実際多くの中学生が活躍されていらっしゃると思います。一例を挙げれば、中萩中学校で行っている防災訓練などでは、ブース毎に中学生が参加された方に説明をしていただいております。篠原委員さんが言われるように、紹介することで子どもたちにとっ

ても刺激になると思いますので、もっとこのようなことを広報させていただきたいと思います。

(秦議長)

皆さんにご意見をいただきましたが、これだけは言いたいという委員さんはおられますか。皆さんの貴重なご意見をいただきありがとうございました。

それでは、議題2その他について、事務局からお願いします。

(2) その他

《今後ご協議いただく案件について、資料に基づき、事務局説明》

《第43回中国・四国地区社会教育研究大会愛媛大会の案内》

(秦議長)

ただいまの件について、ご意見はございませんか。

以上を持ちまして、令和3年度第1回社会教育委員会議を終了いたします。